

次世代ラジオ・コンテンツ・シェア・ネットワーク (Next-Generation Radio Content Share Network)

1. ビジョン

伝統的なラジオ放送の信頼性と、最新のクラウド型デジタルメディアを融合させた、世界規模の音声インフラを構築します。

分断のない世界を目指し、高品質な音楽コンテンツを「フリーシェア（自由共有）」モデルで展開することで、急速なネットワーク拡大を実現します。

2. 核心的な競争優位性（権利の完全管理）

本プロジェクトの最大の特徴は、制作工程（作詞・作曲等）の主導権を握ることで、**著作権および著作隣接権の管理を一本化（クリーンな権利）**している点です。

* 迅速な意思決定: 外部の複雑な権利調整を必要とせず、即時の二次利用や公開判断が可能です。

* 独占的コンテンツ: 海外のトップアーティストとの直接的な繋がりにより、他メディアでは入手困難な一次音源や映像を提供します。

3. ビジネスモデルと展開戦略

「フリー・コンテンツ」を入り口として聴取者層（トラフィック）を集約し、複数の出口から収益化を図ります。

* 収益化の柱:

* デジタル広告: プラットフォーム経由のプログラマティック音声・Web 広告。

* スポンサー・コンテンツ: 制作過程（メイキング等）を含めたネイティブ広告の展開。

* データ活用: 聴取データの分析に基づくターゲット広告の販売。

4. ロードマップ

* フェーズ 1: 国内ラジオ局との提携を強化し、安定したコンテンツ供給体制を確立。

* フェーズ 2: 一般ユーザーへの一部コンテンツ解放による二次創作（UGC）の促進。

* フェーズ 3: 蓄積されたトラフィックに基づき、Web 広告インベントリのフルスケール運用を開始。

> Internal Memo:

> 「クリーンな権利」は単なるコスト削減ではなく、競合する既存レーベルに対する最大のスピード武器となります。